

良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、主の出現を慕う

聖書：Ⅱテモテ 4:7-8, 10. Ⅰテモテ 1:4, 18. 6:12. 使徒 20:24. ヘブル 12:1-2

I. 「わたしは良い戦いを戦い抜き」——Ⅱテモテ 4:7 前半：

- A. 正常なクリスチャン生活は、神の王国の権益のために、サタンと彼の暗やみの王国に敵対して良い戦いを戦うことを含みます——エペソ 6:10-19。
- B. パウロは務めがキリストのための戦いであると考えました。それは、祭司の奉仕が兵役、戦いであると考えられたようにです——Ⅱテモテ 2:3. 民 4:23, 30, 35。
- C. 「兵士として勤務している者はだれも、日常生活の事にかかわってはいません」。これが意味するのは、地上での神の権益のために良い戦いを戦うには、わたしたちは地上の煩わせるものをすべて一掃する必要があるということです——Ⅱテモテ 2:4。
- D. パウロは彼の忠信な同労者であるテモテに、異なる教えに敵対して戦って、神のエコノミーのために戦うように命じました——Ⅰテモテ 6:12. Ⅱテモテ 2:3-4。
- E. 良い戦いを戦うことは、異なる教えに敵対して戦い、恵みの福音と永遠の命に関する使徒たちの務めにしたがって神のエコノミーを完成し、ほむべき神の栄光を現すことです——Ⅰテモテ 1:18. 6:12。
- F. わたしたちはキリストを人に供給するときはずっと、自分が戦いの中にいることを見いだします。ですから、わたしたちは神の権益のために戦う兵士であるべきです——Ⅱテモテ 2:3-4。
- G. キリストと召会に関する神の新約エコノミーを教え、宣べ伝えることは、良い戦いを戦うことです——Ⅰテモテ 1:4. エペソ 5:32。
- H. 信仰の良い戦いを戦うことは、神の新約エコノミーのために戦うことを意味します。特に、それは神の具体化としてのキリストのために、またキリストのからだとしての召会のために戦うことです——Ⅰテモテ 6:12. 1:4. コロサイ 2:9, 19。
- I. わたしたちは永遠の命を保持することによって、客観的にだけでなく、主観的にも信仰の良い戦いを戦います——Ⅰテモテ 6:12。

II. 「わたしは …… 行程を走り終え」——Ⅱテモテ 4:7 後半：

- A. 「わたしが自分の行程と、主イエスから受けた務めを全う……するためには、自分の命を尊いとは思いません」——使徒 20:24：
  - 1. パウロは、主によって所有された後に天のレースの行程を走り始め、そして走り続け、その行程を走り終えようとしていました——Ⅰコリント 9:24-26. ピリピ 3:12-14。
  - 2. 使徒パウロは、レースを走り終える最後の瞬間になってはじめて、「わたしは …… 行程を走り終え」と勝ち誇って宣言することができました。そして彼は、主の出現の時に主によって彼に褒賞が与えられると確信することができました——Ⅱテモテ 4:7-8。
- B. 正常なクリスチャン生活は、行程、レースを走ることを含みます。それは神の永遠の定められた御旨にしたがって神のエコノミーを遂行するためです——Ⅰコリント 9:24。

- C. わたしたちは主が定めた旅路を尋ね求め、忠信にその中を歩み、あらゆる代価を払って、心を尽くしてわたしたちの旅路を継続して、ついには目標に到達する必要があります——Ⅱテモテ 4:7。
- D. 主がわたしたちのために定めた旅路はレースであり、わたしたちはみなそれを走らなければなりません——ヘブル 12:1 :
1. わたしたちが救われた後、神はわたしたちを、直接的に王国を目当てとするレースの中へと入れます——Ⅱテモテ 4:1 後半。
  2. わたしたちは、自分が走りたい行程を選ぶことはできません。そうではなく、わたしたちは、神がわたしたちの前に置いているレースを走らなければなりません——使徒 20:24。
- E. わたしたちは「前に置かれているレースを、忍耐をもって走」る必要があります——ヘブル 12:1 :
1. 使徒パウロのように、すべてのクリスチャンはレースを走って、賞を勝ち取らなければなりません。この賞は、一般的な意味での救いではなく、特別な意味での褒賞です—— 10:35. I コリント 3:14-15. 9:26-27. ピリピ 3:13-14。
  2. わたしたちは忍耐をもってレースを走り、忍耐をもって反対に耐える必要があります、決してうみ疲れたり、魂が気落ちしたりしてはなりません——ヘブル 12:2-3。
- F. わたしたちがクリスチャンレースを走るのは、「わたしたちの信仰の創始者、また完成者であるイエスを、ひたすら見つめ」ることによります——ヘブル 12:2 :
1. イエスは信仰の創始者、すなわち信仰の創設者、開始者、源、要因です——ヘブル 12:2 :
    - a. わたしたちは他のあらゆるものから目を離すことによって、専一な注意力をもって、イエスをひたすら見つめる必要があります——ヘブル 12:1-2. 雅 1:4. 詩 27:4。
    - b. わたしたちがイエスをひたすら見つめるとき、命を与える霊としての彼は (I コリント 15:45 後半)、ご自身を、すなわち彼の信じる要素を、わたしたちに注入します。  2. イエスは信仰の完成者、すなわち、信仰の成就者、完結者です——ヘブル 12:2 :
    - a. 主イエスは信仰の完結者として、ご自身を信じる要素と能力としてわたしたちの中へと絶えず注入します——使徒 7:2. 創 15:6。
    - b. わたしたちが彼をひたすら見つめるとき、彼は天、命、力をわたしたちに供給し、彼であるすべてをわたしたちに伝達し、注入します。それによってわたしたちは地上で天のレースを走り、天の生活をすることができます——Ⅱコリント 3:18。
    - c. わたしたちが絶えずイエスをひたすら見つめているとき、彼は、わたしたちが天のレースを走るのに必要とする信仰を成就し、完結させます——ヘブル 12:1-2。

**Ⅲ. 主の再来がわたしたちにとって尊いなら、わたしたちは彼の出現を愛します (慕います) ——Ⅱテモテ 4:8 :**

- A. 主の出現を愛することと、主ご自身を愛することは、分離することができません

—— I コリント 2:9. II テモテ 4:8。

B. わたしたちは、主が来るのを待ち望んでいるなら、彼の出現を愛する者たちであるべきです—— I テサロニケ 1:10. II テモテ 4:8。

C. 主の出現、彼の再臨は、わたしたちにとって警告、励まし、奨励です—— II テモテ 4:1, 18:

1. わたしたちは主の出現を愛し、熱心な期待と喜びをもってそれを待ち望むべきです——啓 22:20。

2. わたしたちは主の出現を愛する生活をすべきです。このことによってわたしたちは落胆せず、最後まで忠信であり続けることができます—— II テモテ 4:8. 啓 17:14。

D. 主の出現を愛することは、今の世（時代）を愛することと相対します—— II テモテ 4:8, 10:

1. 時代は、サタンのこの世の体系の一部分、一区分、一面です。それはサタンによって利用されて、人々を強奪し占有し、神と神のご計画から彼らを引き離します—— I ヨハネ 5:19. 2:15。

2. II テモテ第 4 章 10 節で「今の世（時代）」は、わたしたちを取り囲み、引き寄せ、誘惑するこの世を指しています。わたしたちは今の時代と接触しない限り、この世と接触することはできません。

3. デマスは今の世を愛しました。今の世が魅了することのゆえに、彼は使徒パウロを捨てました—— II テモテ 4:10。

4. ローマ第 12 章 2 節でパウロは、わたしたちがこの時代にかたどられるのではなく、思いが新しくされることによって造り変えられるように勧めています:

a. 2 節の「この時代」は、この世の現在の、実部分的な部分を示しています。それはからだの生活に対立し、からだの生活に置き換わります——ローマ 12:4-5。

b. この時代にかたどられることは、今の時代の現在の流行を取り入れることです。造り変えられることは、有機的な要素がわたしたちの存在の中へと造り込まれるようにし、こうして内側の新陳代謝的な変化を生み出します——ローマ 12:2. II コリント 3:18。

c. 今の時代は、神のみこころである召会に反対しているので、わたしたちはそれにかたどられてはなりません——ローマ 12:2。

d. わたしたちはキリストのからだの中に生きようとするなら、今の時代に従ったり、この時代にかたどられたり、それに同形化されたりしてはなりません——ローマ 12:4-5。

5. わたしたちは今の時代を愛するなら、この世の側に付きます。わたしたちは主の出現を愛するなら、主の側に付き、主の権益のために主と共に戦います—— II テモテ 4:1-2, 4-8, 10。

E. 主を愛し、主の来臨を待ち望み、主の出現を愛する者たちは、勝利を得ます—— I コリント 2:9. II テモテ 4:8. 啓 22:20. 17:14。

F. 主の出現を愛することは、わたしたちが主を愛しており、今日、主のために生きていることの証拠です。ですから、それはまた、わたしたちが主の褒賞を受けるため

の条件となります——Ⅱテモテ 4:8, 18。

- G. 主の出現を愛することは、わたしたちが正常な生活をすべきでないということの意味するものではありません。そうではなく、わたしたちは主の出現を愛すれば愛するほど、今日ますます正常な生活をする必要があります——マタイ 24:40-42. Ⅱテサロニケ 1:10. 3:6-12. Ⅰテモテ 5:8。
- H. 主イエスを愛し、彼をわたしたちの命とし、彼を生き、彼を大きく表現する者たちとして、わたしたちは彼の来臨を待ち望み、彼の出現を愛すべきです。このことは、わたしたち（彼の喜びの中に入り、救われて主の天的王国の中へと入り、義の冠を受けることを望んでいる者たち）の心の願い、わたしたちの生活となるべきです——Ⅱテモテ 4:8, 18。